

2020 年度環境マネジメントシステム実施計画(結果)

評価：○-達成度 100%、△-達成度 50%以上 100%未満、×-達成度 50%未満

2020 年度環境目標	行動内容	検証結果	評価
<b>環境教育 — 環境意識の向上</b>			
社内教育の実施 (年 3 回以上)	・新入社員研修の研修項目に設定	・新入社員研修、各グループ・ チーム会を通じて実施	○
	・グループミーティング(オンラインを 含む)を活用した社内教育		
環境内部監査員の育成 (1 人以上)	・環境事務局構成員の内に 内部監査員を育成	・内部監査員 1 名育成	○
乗船前研修での教育実施 (100%)	・マンニング会社と協働して 完全実施	・オンラインを活用して実施	○
乗組員への船上教育・訓練の 実施(各船年 1 回)	・管理船訪船時に教育指導	・内部監査(リモート対応含め 計 33 隻 37 回実施) ・安全検船、保船検船は、新型 コロナウイルス感染症拡大の 影響により実績なし	△
船内安全衛生委員会の開催 (1 ヶ月 1 回)	・船内安全衛生委員会にて、 環境保全に関する事項を周知	・各船毎月実施。	○
<b>安全運航の推進(汚染の予防) — 海洋環境の保護</b>			
船舶からの漏油事故ゼロ (量の多寡に関わらず)	・船舶の安全運航推進	以下の施策を通して、漏油 事故ゼロを実現  ・安全管理マニュアルの順守 ・ビデオメッセージ配布+本船 からの意見集約による 安全キャンペーン実施 ・Sailing Instruction ならびに e-mail で運航船へ漏油防止 対策を指示 ・デリバリー前の注意喚起 ・鋼材積み荷役監督立会い時 現場指導	○
	・安全な補油、油の移送作業の実施 ・船外へ漏油の可能性がある整備 作業の確実な実施		
	・錨泊並びに着岸中、甲板上よりの 油流出の防止		
バラスト水の適切な管理	・寄港国の規則に従った、バラスト水 の漲替え、又はバラスト水処理装置 を介したバラスト水管理を確実に 実施	・各寄港国の規則に従い バラスト水の漲替えを実施 ・バラスト水管理条約に 沿って、バラスト水処理装置の 搭載対応 (既存船はレトロフィット)	○
	・バラスト水管理条約の発効への 対応		

2020 年度環境目標	行動内容	検証結果	評価
<b>省資源、廃棄物削減 — 資源の節約</b>			
船舶解撤に伴う環境汚染の 予防	・環境保全に配慮した解撤ヤードの 選定	・船主協会解撤幹事会を通じ、 解撤ヤードに関する情報収集 ・インド亜大陸の解撤ヤードの 実地検分検討 (今年度コロナ禍により機会な し) ・Inventory of Hazardous Materials の本船搭載	○
輸送トン・マイル単位当たりの 燃料使用量を 対 2019 年度比 2%削減	・陸上組織に於ける効率運航の 実施	以下の施策実施を通じて、 目標を上回る 6.76%削減 *注:1~12 月の集計結果を 使用  ・バラスト航海の日数削減や 貨物積載量の最適化等、 効率的な配船実施 ・ウェザールーティング サービス活用による経済運航 実施 ・ECDIS/海図の有効利用、 運航解析システムの導入・ 運用を実施 ・スラッジ分散材の供給・在庫 管理	○
	・船上に於ける効率運航の実施		
	・燃料油に薬品等を添加し、 燃焼効率を上げることによる削減		
従業員一人当たりの紙消費量 の維持・削減	・資料の電子データ化による削減 ・節約印刷による削減	・電子データ化、一部購読誌を on-line へ切り替え、 クラウド活用等による ペーパーレス化促進・強化	○
	・船舶管理ソフト有効活用による ペーパーレス化促進		
節電の実施	・非使用照明・PC・機器類の電源 OFF 励行 ・不要照明の節電等電力供給不足 に伴う節電を実施 ・夏場は、クールビズ等による 節電の実施	・夏場を中心に適切な 空調温度管理、クールビズ実 施等の節電対策・社内喚起を 適切に実施	○
リサイクル活動の推進	・法令および入居ビル規則に従った 分別の確実な実施 ・エコキャップ収集を通じたりサイク ル及び社会貢献活動への協力	・ゴミの分別を中心に社内注意 喚起、エコキャップ収集をはじ めとしたリサイクル推進を適切 に実施	○

2020 年度環境目標	行動内容	検証結果	評価
<b>大気の保全(汚染の予防) — 有害大気汚染物質の低減</b>			
輸送トン・マイル単位当たりの CO <sub>2</sub> 排出量を 対 2019 年度比 2%削減	・効率運航の実施	以下の施策実施を通じて、 目標を上回る 6.77%削減 *注:1~12 月の集計結果を 使用  ・輸送トン・マイル単位当たりの 燃料使用量削減と同様の施策 実施  ・EEDI 規制を意識した船舶の 仕様決定、変更を継続  ・次世代燃料船に関する調査・ 研究  ・新造船に、燃費の優れた エンジンを搭載	○
	・新船型、改良機器の搭載の計画		
IMO GHG 削減目標達成に向 けた計画策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030 年までに 2019 年度比 燃費効率 20%改善するための ロードマップ作成</li> <li>・2050 年までに 2019 年度比 燃費効率 60%改善するための シナリオ検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全推進グループが 中心となり GHG 削減に向けた ロードマップ及びシナリオを 作成中</li> <li>・アンモニアをはじめ代替燃料 も調査・研究中</li> </ul>	△
ISO14064 認証取得	・GHG 排出量算定報告書の作成、 提出	・2021 年 5 月に認証取得予定	△
米国ロングビーチ港就航船 GREEN FLAG INCENTIVE PROGRAM の実行(100%)	・当該港 40 マイル以内を 12 ノット 以下で航行	・ロングビーチ配船7隻 適切に指示。 (資源 G2 隻/不定期船 G5 隻)	○
低質燃料油の使用防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料油分析の実施</li> <li>・特定海域における低硫黄燃料油の 使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定海域(ECA エリア)航行時 の低硫黄燃料油の使用を 徹底実施</li> <li>・HSFO についても、ルール 適合すべく、スクラバーを 適切に運用</li> <li>・補油毎にバンカーサンプルの 分析を実施、適宜技術部門とも 相談</li> </ul>	○

2021 年度環境マネジメントシステム実施計画

2021 年度環境目標	行動内容
<b>環境教育 — 環境意識の向上</b>	
社内教育の実施	・新入社員研修の研修項目に設定
	・グループミーティング(オンラインを含む)を活用した社内教育(年4回以上)
	・環境保全に関する情報を社内へ発信
	・e-ラーニングによる教育
乗船前研修での教育実施(100%)	・マンニング会社と協働して完全実施
乗組員への船上教育・訓練の実施(各船年1回)	・管理船訪船時に教育指導
船内安全衛生委員会の開催(1ヶ月1回)	・船内安全衛生委員会にて、環境保全に関する事項を周知
<b>安全運航の推進(汚染の予防) — 海洋環境の保護</b>	
船舶からの漏油事故ゼロ (量の多寡に関わらず)	・船舶の安全運航推進
	・安全な補油、油の移送作業の実施
	・船外へ漏油の可能性がある整備作業の確実な実施
バラスト水の適切な管理	・寄港国の規則に従った、バラスト水の漲替え、又はバラスト水処理装置を介したバラスト水管理を確実に実施
	・バラスト水管理条約の発効への対応
<b>省資源、廃棄物削減 — 資源の節約</b>	
船舶解撤に伴う環境汚染の予防	・環境保全に配慮した解撤ヤードの選定
従業員一人当たりの紙消費量の維持・削減	・資料の電子データ化による削減
	・節約印刷による削減 ・船舶管理ソフト有効活用によるペーパーレス化促進
節電の実施	・非使用照明・PC・機器類の電源 OFF 励行 ・不要照明の節電等電力供給不足に伴う節電を実施 ・夏場は、クールビズ等による節電の実施
リサイクル活動の推進	・法令および入居ビル規則に従った分別の確実な実施
	・船用品の梱包資材のリサイクル

2021 年度環境目標	行動内容
<b>大気の保全(汚染の予防) — GHG 排出削減・大気汚染防止</b>	
2030 年までに輸送トン・マイル単位当たりの CO2 排出量を 2019 年比 20%削減	・陸上組織に於ける効率運航の実施
	・船上に於ける効率運航の実施
	・新船型、改良機器の搭載の計画
	・燃料油に薬品等を添加し、燃焼効率を上げることによる削減
IMO GHG 削減目標達成に向けた計画策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030 年までに 2019 年度比燃費効率 20%改善するためのロードマップ作成</li> <li>・2050 年までに 2019 年度比燃費効率 60%改善するためのシナリオ検討</li> </ul>
ISO14064 認証取得	・GHG 排出量算定報告書の作成、提出
米国ロングビーチ港就航船 GREEN FLAG INCENTIVE PROGRAM の実施(100%)	・当該港 40 マイル以内を 12 ノット以下で航行
低質燃料油の使用防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料油分析の実施</li> <li>・特定海域における低硫黄燃料油の使用</li> </ul>
グリーン電力の導入	・CO2 排出量低減メニューへの契約変更